

e-ビーフNEWS 北の牧場から

September 2020

十勝はまだ残暑

朝20度前後日中で30℃超えが続いています。盆を過ぎると北海道は、ストーブに火を入れるのが当たり前の中で、この残暑?はきつい。

この中で牧場作業は、1作業ごとに水をがぶがぶ、牛たちも水場に群がっています。そうは言っても昨日から10度まで下がり雨。季節が変わってくれるかな

十勝の畑では、ジャガイモ収穫作業でハーベスターが動き回っています。今年は日照不足が影響し、小ぶりで収穫量も少ないようです。これから、いろいろな作物の収穫がスタートし忙しくなります。牧場も2番草からデントコーンの収穫に移ってゆきます。



活動のお知らせ

10/29(木)帯広市 北海道畜産公社 第10回北海道肉専用種枝肉共励会

10/29(木) 13:00-17:00.....とかちプラザ(帯広市)2階 視聴覚室

第17回資源循環型肉牛生産シンポジウム2020/日本産肉研究会第26回学術集会

シンポジウムテーマ「新型コロナウイルス感染症パンデミックの経験を乗り越えて次の畜産を考える
～これからの新しい社会システムにおける畜産の生産、販売及び消費を見直す～」

※参加者制限:収容人数1/2の80人 なお、状況によっては中止の可能性もあります

NEWSばかり読み

- 上期輸出農産物8%減 コロナ禍で 牛肉23%減8/1:数字で出ますね
- Jミルク 20年度需給見通し 道外回復 北海道伸び鈍化
- 8/1:乳量伸び一段と
- 農林水産省フードテック研究会 昆虫畜産飼料、食肉代替品で実用化
- ルール作成8/4:北里大学FSC八雲牧場イナゴ正解か
- 厚労省 老老介護6割75歳以上が3割8/5:高齢者社会現実
- 農林水産省 19年食糧自給率カロリーベース38%1%増 小麦収量増加
- 8/6:微妙
- 18年度食糧自給率 北海道1位196%8/6:独立しても飯は食える
- 農研機構 田んぼダム 豪雨時のため池機能発揮
- 8/7:田んぼは日本に合っている環境
- 国産豚鶏肉 昨対1割高 内食追い風8/7:コロナ禍メリット?
- モーリシャス 日本籍タンカー座礁 重油流出
- 8/7:世界環境破壊に重責
- 牛肉輸入量6か月ぶりに前年度下回る コロナ禍で産地相場高
- 8/8:世界は上がってんだ
- 6月家計調査 内食半年ぶりに減少 経済再開で外食増8/8:ゆるんでる
- 幸楽苑やワタミなど外食各店 農業や介護に人材派遣
- 8/8:仕事リスクヘッジ
- 国産新麦 収穫前線に合わせ全国フェス8/11:国産麦利用拡大歓迎
- 新型コロナ 感染者拡大2000万人超え ワクチン争奪戦へ
- 8/11:強いものが
- 三菱地所 大規模農業に参入 施設園芸大手と提携8/11:この機に
- 農林水産省 牛マルキン算定方式 ブランド和牛生産県で見直し
- 8/13:産地格差
- 茨城大 スマホ使い豚生体重の推定方式開発8/13:進むね

- 青果卸51%が営業損失計上 野菜価格の長期低迷が響く
- 8/14:店頭は変わらず
- アフリカ豚熱 ワクチン開発が加速8/14:頑張ってる
- 認知症 コロナ禍で悪化 受診控え顕著8/15:進む
- 農林水産省 加工原料乳制度 生乳出荷の期間限定、用途特定はルール違反
- 8/15:
- 熊本JA菊池 家畜伝染病法対応 侵入防止で全戸に機材設置
- 8/20:畜産県真剣
- エネルギー省 バイオマス発電向け原料で森林確保8/20:それより間伐
- 生乳需給ひっ迫 学校夏休み短縮で給食増8/21:需要幅が少ない
- 包装メーカー モアデバイス 鮮度保持と生分解性を両立資材開発
- 8/21:期待
- 米国 生ジャガイモの輸入解禁要請8/22:防疫と貿易の力任せ
- 7月食料品物価1.9%上昇 長雨とコロナ禍需要
- 8/22:末端消費者に影響
- 27年和牛全共に北海道が初立候補8/22:来たね
- 小麦反収490kg 過去最高の収量8/24:取れているんだ
- 医療防護関連の輸入比率が8割8/24:国民の命
- 北里大学ベンチャー 牛卵巣模型の商品化
- 8/25:大学ベンチャーががんばるね
- 北関東で牛豚家畜の盗難相次ぐ8/25:えっ生きた牛持ってゆくの
- トレサビあるのに
- 新型コロナ影響で食品在庫積み上げ 牛肉、米、バター、脱粉
- 8/26:蓄財
- 気象庁 台風接近数が20年で1.5倍に 移動速度は遅く8/26:災害日本
- キリン 傘下豪州乳業会社の中国企業への売却断念 米中摩擦の影響
- 8/26:政治判断
- 信越化学 植物肉素材を欧米に生産供給開始8/31:地道に増加

東京直近NEWS (8/30 Shi-REPORT)

ホルス

相場は下げ基調で推移。
量販特需は落ち着き、切落し材がなんとかコンスタントに動く程度。
単品パーツは赤身系以外、全体鈍く慢性的にロインが不調。
外食系の停滞から、冷凍パーツも鈍く
一部生協系の原料は順調も全体としては低調。
旧盆以降、節約志向の高まりから9月の動きは停滞予測。

経産牛

経産牛相場は高値更新しており、枝相場の高止まりが見えない。
挽き材関係も慢性的に不足しており、枝相場高騰からコストも急騰。
パーツ需要は引合いも落ち着いており、枝コストに比例しない。
特にヒレの需要が悪く、市中荷余り感が強い。
挽き材の需要も一時よりは落ち着いてきているが、
コスト高から価格買い手の動きがみられる。
生乳不足から今後も枝相場は大きな下げに転じる要素は少ない。

1. 肉用牛研究会報第109: 2020

1)飼料用玄米の肥育全期間給与がホルスタイン種去勢牛の肥育成績に及ぼす影響(山田知哉他、食品産技総研機構)
飼料用玄米の肉牛への給与試験は黒毛和種主体でしたが、ホルスタイン種去勢牛での肥育成績を検討しました。飼料用玄米を35%添加した配合飼料と乾草で8-22ヵ月齢まで肥育すると筋間脂肪のオレイン酸割合が増し、肥育成績は対照区と同等でした。

2)現在の黒毛和種去勢肥育牛の肥育期間における発育様相の推定(広岡博之:京大他、)

近年黒毛和種牛は大型化しているものの発育曲線は2004年以降報告がなく、63頭の去勢肥育牛について月齢と体重からGomperz曲線に当てはめて成長を検討しました。黒毛和種肥育去勢牛は肥育中・後期にも成長が続き、発育曲線の比較から現在の黒毛和種は乳用種、褐毛和種よりは小型で、当時(2004年)のF1より大型であると思われました。

2. 畜産技術#783.2020.8

1)肉用牛の脂肪酸組成形質に係るゲノミック育種価評価法の開発と実用化について(渡邊敏夫: 家改技研)

牛肉脂肪中の不飽和脂肪酸含量はブランド化の指標の一つになるほど重要な形質で、この牛肉脂肪酸組成のゲノミック評価法を試み、僧帽筋のオレイン酸を実測し、BLAP法と一塩基多型(SNP)のDNA多型情報を組み合わせて推定精度を検討しました。その結果、家畜改良事業団の

牛肉脂肪酸組成G育種価は6.07,正確度0.96の成績となりました。

2)座談会3「食肉のおいしさについて～牛肉を中心に～」(入江正和:家改セ、益山初男:日山、佐々木啓介:農業・食品総研機構、片平梨絵:トップフィールドマーケティング、南波利昭:畜技協、柴田正貴:畜技協)

総合討論では、食肉のおいさと食肉中の脂肪酸などの遺伝的改良成果などありますが、肉のおいしさはやわらかさや香り、うま味成分量だけでは表せない複雑さに出席者の見解も多様です。育種研究の中心は家畜改良センター、飼料の肉質などへの影響は地域の試験場、肉質と細胞などの関係は大学・研究機関などが役割分担すべきという考えのようです。

3. 特記:2020.8.9.道新メモ:中標津の酪農家乳牛での「三元交配」第一段階

ホルスタイン種×モンベリアード種(フランス原産)の交雑種子牛誕生。生後13ヵ月以降カナディアン・エアシャーを掛け合わせる。→受胎率、耐病性の向上、長命連産の雑種作りが目的、日本で3元交雑は豚が主流ですが乳牛では珍しい取り組みです。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2019

話題提供3.「IoT技術の肉牛生産への活用事例」全5回シリーズ③

(株)デザミス研究開発部、藤谷牧場

